




す が お

No.44

養護老人ホーム
松楓園 情報誌



迎春

皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。

昨年は、長引く不況のもと、三月十一日に起きた想像を絶する地震と津波の東日本大震災、それによる原発事故と日本中が大きな悲しみに包まれた一年でした。被災地域、及びその近隣地域にお住まいの皆様には心よりお見舞い申し上げます。

に、いまだ復旧・復興のめどが立たない地域が多くあり、一日も早い復興を祈念いたします。

また、世界に目を向ければ、ユーロ圏で数カ国の国家的経済破局の危

機、アフリカ各国での内戦やタイの大洪水など、政治・経済・天候の面で辛い経験をし、不安が残った年でありました。

その中で、昨年も松楓園は大きな事件・事故も無く比較的平穏な一年を過ごせたのではないかと思っています。まずはこうして無事に新しい年を迎えることができたことを感謝申し上げます。

今年も心配されたインフルエンザやノロウイルスの発生も、早い時期に利用者の皆様のご協力をいただいで感染を防ぐ為のいろいろな予防対策を実施したことで、今まで発生ゼロで来ることが出来ました。今後も気を緩めることなく引き続き注意していきたいと考えております。

さて、養護老人ホーム

の運営は、平成十八年から国の予算で一般財源化され、施設の目的は利用者の社会的自立を求めることとして「中間施設」として位置づけられました。また、平成二十三年十月には「高齢者の居住の安定確保に関する法律」(いわゆる「高齢者住まい法」)が施行され、国土交通省と厚生労働省の共管によるサービスタスクの高齢者向け住宅制度が始まりました。

平成二十四年度の介護報酬改定に向けて、厚生労働省は地域密着型サービスの一環として小規模養護老人ホームの整備費を予算要求しました。

今後養護老人ホームが生活支援施設としての役割を担うためには、利用者の重度化や精神疾患者への知識の確立、医療と

の連携を踏まえたサービスの専門性強化が求められます。

私たち松楓園職員一同は、このような養護老人ホームを取り巻く環境が激しく激変する今こそ、利用者の皆様の声を正しく受け止めて、その立場に立ち、皆様の小さな不満や不安も見逃さないサービスに対する発想や意識を常に持つために、本年の目標を

「プラス1%の工夫」と定めて、笑顔でスピーディーに真心を籠めたサービスの提供に努めてまいります。

結びに、今年一年が健康と笑顔に満ち溢れる毎日である事をお祈り申し上げます。年頭の挨拶と致します。

施設長 馬場 義郎



福来門笑



平成二十四年 利用者新年会

新年初顔合わせの行事となる「利用者新年会」を一月六日に松楓会ホールにて開催しました。当日は、併設の特別養護老人ホーム「コスモホーム」の施設長にも参加していただき、新しい年を迎えた喜びを盛大にお祝いする事が出来ました。

新しい年を迎えて



新年会の席では、利用者の方々より新しい年を迎えての思いや豊富について、お話を頂く事が出来ましたが、今年は震災に見舞われた方々への思いや、家族を気遣う思いなど、優しさあふれる言葉が多く聞かれました。

「新年会 式次第」

- 一、施設長挨拶
- 二、コスモホーム施設長挨拶
- 三、乾杯
- 四、会食
- 五、だるまの目入れ
- 六、利用者新年の抱負
- 七、職員新年の挨拶
- 八、記念写真

「年男・年女」

今年には四名の方が年男年女を迎えられました。
秋元 清昭様
栗山 喜美子様
増岡 節子様
奥田 和子様
年男・年女の方々には二月の節分で豆まきも行って頂く予定です。

【小林栄吉様】
健康は素晴らしい物です。一緒に松楓園で暮らしている皆様のご健康をお祈り致します。

【小山貞子様】
今年も元気で皆さんと一緒に歩いて行きたいです。

【永田志げ子様】
今年も美味しい物を沢山食べて健康に暮らしたいです。

【青木 治世様】
今年は意志を強く持ち毎日明るく生活したいです。

【小野寺 京子様】
毎日を穏やかに暮らしたいです
(紙面の関係で一部の掲載とさせて頂きました)

お正月飾り

新年会の会場や施設内をお正月の雰囲気いっぱいには飾っていただいたのは、利用者の方々による手作りの作品です。グループワーク手工芸と書道クラブが中心となり、秋の初めころから作り始め、大勢の方に参加をしていただきながら、見る人が笑顔になるような温かいお正月飾りとなりましたので、紹介をさせていただきます。



ひとつひとつ折り紙を使って作りました。立体的な七福神の温かい笑顔に、良い年の始まりを予感します。



手作りコマ

新年会のテーブルには、手作りのコマが並べられ、皆さん興味を持って色鮮やかなコマを手にとられていました。このコマは今年、栃木県日光方面の利用者一泊旅行の見学地に展示されていた物を参考に、GW手工芸の皆さんが作成しま

した。見本で購入したコマを持ちかえり、分解して作り方を学び、三枚の折り紙をひとつひとつ丁寧に折りながら作り上げた作品です。眺めるだけでも綺麗ですが、実際にコマを回してみると彩り鮮やかな模様が浮かび上がり、とても美しいのですが、写真で紹介できないのが残念です。

書き初め



書道クラブの方々の書き初めを新年会の会場に展示させて頂きました。

講師の西野先生の指導を受けながら、新年を迎えるの思いを書に託し、一文字ずつ心を込めて書き上げた作品からは、利用者の方々の新しい年への思いが伝わり、時間を忘れて、いつまでも眺めていたくなる作品でした。

があがり、西野先生に指導していただきながら、迫力のある書が完成しました。今号の表紙に写真を掲載していますので、是非ご覧になつて下さい。



だるま



毎年、拜島大師への初詣に出かけた際に、だるまを購入しています。新年会の席で、皆さんの願いが叶うように、だるまの目に墨を入れるのが、恒例となっております。利用者の方々からは、「願い事が叶う「だるまさん」として親しまれています。今年も皆さんの願い事が叶いますように。」

会食

新年会の席上では、新春の訪れを感じられる華やかな食事を提供させていただきました。利用者の方々にも好評で、会話も弾み、会食を楽しんで頂く事ができました。



舞がお出迎え

今年の新年会では、入場の際に皆さんの無病息災と幸せを願って、獅子舞がお出迎えをしました。大きな顔にビツクリしながらも、縁起物の獅子舞の登場に手を触れて頭をなでたり、拝んだりと好評をいただきました。





今年も毎年恒例の拝島大師への初詣に出かけてきました。一年の始まりを参拝して迎えようと、利用者の方々の参加希望者も多く、一月四日〜五日の二日間に分けて初詣を行いました。

拝島大師では人出が多く、屋台の方の声元気よく、活気があふれとても賑やかでした。そんな中、利用者の皆さんは参拝の前にどの大きさのダルマを購入しようかと迷ったり、美味しい匂いを漂わせている屋台の食べ物を購入するなどされてました。

いざ、参拝へ！と階段を上り手を叩きお願い事をしましたが、皆さんはどのようなお祈りをされたのでしょうか？

本年も皆様が健康で楽しい年になりますように。



拝島大師



拝島大師は東京都昭島市にある仏教寺院です。本尊の元三慈恵大師像は良源が自ら姿を刻んだものとされ、本来は比叡山横川の地に祀られていたと言われています。寺伝によれば、元龜二年（一五七二年）小田信長の比叡山焼き討ちの際に、敬謙大僧都が大師像を持ちだし、諸国放浪の末、天正六年（一五七八年）にこの地に安置し、本覚院を建造したと伝えられています。



利用者合唱団

今年のクリスマス会は、外部への催し物を依頼せず、利用者の方に参加して頂き、利用者有志による合唱団と、職員有志によるハンドベル演奏を企画しました。

利用者有志の方による合唱団の練習は毎週3回行い、最初はカラオケ感覚で歌の練習を行っていましたが、日々練習の成果が出始め、皆さんの歌声を合わせ、最後にはリズムの強弱まで合わせられるようになり、さらに歌い終わりをアレンジし盛り上げる様に歌う練習も行いました。練習の成果が、合唱団一人一人の自信に繋がりました。

当日、白のシャツやブラウスで衣装を合わせ、合唱団の方々の緊張した表情がみられましたが、皆さんの前で「赤鼻のトナカイ」と、ピアノ伴奏に合わせ「きよしこの夜」の2曲を歌いました。緊張した中でも、練習の成果を発揮し素晴らしい合唱が出来ました。

合唱団9名の方の、素晴らしい歌声ありがとうございました。

12月15日 クリスマス会

Merry X'mas!



笑顔あふれる楽しいクリスマスパーティーとなりました。



【編集後記】

厳しい寒さの中にも清々しさを感じられるのは、やはり年が改まったからでしょうか。利用者の方々も新年を迎えた喜びと、思いを胸に新しい年の生活が始まりました。今年も良い年であったと思っただけに、懸命に頑張っているように思います。

広報誌 編集委員会

発行者 社会福祉法人松楓会
 養護老人ホーム松楓園
 住所 東京都 あきる野市
 菅生1159番地
 電話 042-558-7010 (代)
<http://www.showhoen.jp/>